慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	西比利亜の経済的意義（下）
Sub Title	
Author	阿部, 秀助
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1918
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.12, No.6 (1918. 6) ,p.832(128)- 839(135)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19180600-0128

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

mailles très étroites, portant dans les coins les plus éloignés l'action bienfaisante et generatrice de l'aboudance du crédit. (Huart. L'organisation du Crédit-en France P. 173-174.)

獨逸銀行が獨逸商工業の援助者たり、或又企業精神（Unternehmungsgeist）の刺戟者たりし事は遂に、天惠少く、萎靡せる獨逸商工業の熾榮を齎らした、蓋し、資本主義的精神を以つて經濟體（Wirtschaftkörper）を充たす事によりて、速かに資本主義的組織に推移するを得るからである、獨逸銀行の蒔きたる種子は漸次生長して、驚歎すべき獨逸商工業となり、而して今や播きたる種子を自ら刈るべき時期となつた、彼の正則業務への漸次的推移は是れを語るのである。蓋し資本の充實と比例して正則業務の發達を見るからである、されば總收入の變化の形態は銀行の國民經濟た及ぼす、貢献、影響の變化を示すものであと。

西比利亞の經濟的意義（下）

阿部秀助

二十四

治海州が最も農業に適せる地方なりとは久しく、世人の間に信せられしにも不拘、事實、同州面積の三分ノ二以上は丘陵地にして、其間農業に適せる地方は「ウスリー」河の流域と「ハンコ、ヤケ」低地地方「スコトヴ」「ミアハ」「シトツア」諸流の流域地方「スカン」「ポシエット」高地等の地方のみにして、以上地方の特徴は二三の場合を除き、多く是等の地方に於ける河流は秋冬の兩季に於て枯渇し、之れに反して春夏の兩季には恰も瀑布の如き急流を呈すること少からず、加ふるに四月より六月にかけて寒冷なる濃霧に襲はれ、時として此濃霧は七月に及ぶことあり、斯くて歐露方面よりの移住者は自己が未だ經驗せざる此自然現象の爲めに或は水害の厄に罹り、或者は濃霧の爲めに作物の發育を妨げられ、非常なる困難に遭遇せしが、其後、支那朝鮮兩方面よりの移住者の援助を受くるに至りて茲に以上の困難より輕じて脱するに至れり。

二十五

露國は此地方を占領すると共に、歐露方面よりの移住を奬勵せしも、然かも當時陸上に於ける交通の不便なることは、是等の移住者をして歐露方面より此地方に轉せしむるに短くて八ケ月、長くて約一ケ年半を空費せしめし結果、爲めに政府の保護、奬勵も充分なる効果を奏せず、其後、義勇艦隊によりて極東方面との連絡成るや、此機に乘じて之れが移民の增加を計りしも、之れ又た其費用の比較的大なる結果、滿足なる解決策とならず、而して此州に於ける眞の移民事業は西比利亞鐵道開通の當時に始まりしものにして、殊に日露戰役後に於て著しき增加を見るに至りし理由は當時、同戰役に從事せし兵士が歸還後、此地方の有望なるを唱說せしに依りしものにして、斯くて其聲に應じて移住し來りし者は眼をさへぎるものなき沃野の代りに霧深き丘陵地帶の存するを見て大なる失望に打たれしものなりとす、然かも此地方に於ける農民の移住を奬勵せしことは一面、木工、鍛工の如き手工業者の移住を助成することとなり、斯くて彼等は此地方の小都會に居住して日本人又たは支那人と競爭するに至れり。

二十六

最近、本州に於ける金鑛業は著しく不振の狀態にあり、而して之れが主要なる原因は、資金の缺乏、信用機關の緊縮及勞働上にありては支那人問題にして、而して以上の不振を救濟する

方法としては次ぎに述ぶるが如き策を必要とす即ち從業者の權利に就きては支那人は自餘の外國人と同等の基礎に立つ可きこと、鑛山に於ける彼等の勞働を制限すること、又鑛山地方に於ける水量及之れが壓力を知る必要上、政府は自己の費用によりて之れが調査研究をなすこと、金鑛採掘者に課せる、租稅及手數料を低減すること、及、從來、種々の名義の下に課せられし特別稅を全廢すること、其他州立銀行に向つて資金の供給を仰ぐこと、鑛山地方に於ける通路の改善等なりとす。

尙ほ沿海州に於ける鑛業は最近著しき變化を受くるに至れり、而して以前多くの注意を拂ひし金鑛は殆んど十中八九の場合を通じて不成功に終るに至れり、只だ現時、之れが大規模に經營せらるゝものは「ニコライエフスク」の附近にある「オルスク」金鑛にして、其他、殆んど之れと相匹敵する鑛業は「チツイエ」灣附近にある銀及錫を產する鑛山にして、之れが鑛產物は原料のまゝ歐洲方面に仕向けられ、又、千九百十二年に於て米國方面には千六百噸の輸出を見るに至れり、又、同年、獨逸の鑛業調査者は「ウラヂミル」及「ドヂグイット」の附近に於て有望なる銅鑛脈を發見するに至れり。

二十七

沿海州に於ける製材業は露國の極東方面に於ける自餘の諸州よりも非常なる發達をなし即ち現時此事業の集中せる方面は浦鹽港「ハバロフスク」「ウスリー」鐵道に沿ふ地方にして斯くの如きは主として、以上の方面に政府的事業の存する結果人口の集中せるによるものなりとす、尙ほ此方面に於ける製材業に供せらるゝ器械は極めて近世的のものにして多く獨逸及瑞典より輸入せられし形跡あり、尙ほ現時に於ける製材業は外國市場に於て有効なる競爭をなす爲めには餘りに生產費高きに失するも、然かも船材として日本及英國に輸出せらるゝもの必ずしも絕無にあらず、而して現時、此業に關連して注意す可き點は「ニコライエフスク」を去る四十哩乃至四十五哩にある黑龍江の一支流に於て特殊なる木材輸出港の設けらるることなりとす、若此計畫にして實現せらるゝに至らば、此方面に於ける船材輸出上に非常なる影響を與ふに至る可し。

二十八

浦鹽港は其眷地の關係より見るも或は海外に於ける商港との關係上より考察するも、又た西比利亞鐵道の終點たる點より見るも露領極東方面に於ける有力なる商港たるを失はず、現に千九百年に於ける之れが輸出額は四十一萬七千噸に過ぎざりしが千九百十一年には百十四萬五千噸となり、其間著しき進步發達の存することを示せり、而して此港より輸出せらるゝ重要なる商品は主として北滿洲の豆類「マンチユリア」及「ウスリー」方面よりの木材、最近組織せられし地方的工業より齎らさるゝ鑛產物及製造品等にして、之れに對して輸入品の主なるものは農業に使用せらるゝ機械、器具、鑛業及農業上の用品、及食料品等なりとす、只だ本港は地形上極めて有利なる地位を有するに不拘、强大なる北風は屢々嚴寒の季節に於て港外に大なる氷塊を齎らし爲めに碎氷船の力を借るにあらずんば通航し能はざるものなりとす、尙ほ獨逸の一汽船會社は「ハムブルグ」及「アントワープ」と浦鹽港との間に新たに一航路を開かんことを企てしことありしと共に、露國義勇艦隊は專ら歐露方面より極東の露領に輸入せらるゝ貨物の價格を低廉ならしむる爲めに「バルチツク」諸港と浦鹽港との間に數艘の汽船を航行せしむる計畫をた

て同時に浦鹽港と「バング、バー」「タコマ」「シヤトル」の間にも之れが航路を開かんとせり、若、此最後の計畫にして實現せんか、北米合衆國と露領亞細亞との間に於ける取引關係は從來に比して著しき發達をなすに至る可し、尙は「ポートサイド」の一製鹽會社は專ら漁業上の用途に向つて自己の製品を輸入する手段として浦鹽港に新に一出張所を設け、且つ同會社は往航には鹽類を復航には埃及向きの木材を積載する爲め茲に定期船の航通を約すに至れり。

二十九

沿海州に於ける統計局の調査によれば千九百十三年一月一日に於ける同州の人口は八十七萬三千六百六十二人、更に之れを細別すれば「ニコルスク、ウスリスク」は男子二萬三千八百四十三人、女子一萬八百七十五人合計三萬四千七百十八人にして其戸數四千四十四、「ハバロフスク」は男子三萬二千百八十八人、女子一萬七千三百人、合計四萬九千四百八十八人にして其戸數五千六百二十六、「ニコライエフスク」は男子八千二十七人、女子四千四百八十九人、合計一萬二千五百十六人、其戸數千九百八十九、尙は最近調査によれば浦鹽港在住者は軍人を除き九萬四千九百三十五人其中、七萬一千六百四十六人は男子にして二萬三千二百八十九人は女子なりとす、更に以上の人口中、五萬三千九百五十七人は露國人、七百八十四人は露國に籍を有する朝鮮人、千百六十七人は土人即ち「ギリアク」「オロチエンス」「カムチャダル」にして其他、四百三十人の猶太人、二百八十六人の韃靼人八千二百十人の朝鮮人二萬八千七百八十七人の支那人千八百三十人の日本人あり。

三十

沿海州に就きて最も多く研究せられしは千九百十二年のことにして、幾多改善の事業が企てられし中に、最も多くの注意の拂れし問題は之れが沿海地方に於ける汽船交通及通信事業にして「カムチャツカ」との汽船交通は春期に於ける義勇艦隊所屬汽船の通航によりて非常なる便益を被むるに至れり、即ち之れか爲めに同方面の漁場に赴く者の爲めに非常なる便を來たせり尙は是等の船舶は秋期に於ては專ら漁獲物を市場に運搬する任務に服するものなりとす。

外國船に對して沿岸貿易を禁止する法律及露西亞國旗の下に此方面の交通を統一する政策は其後幾多の變化を被むるに至れり、之れより先き沿岸貿易は主として支那及朝鮮の「ジャンク」によりて營まれしが新法令の發布と共に禁止せらるゝに至れり。

露領極東地方の海上交通は義勇艦隊と「カウント、カイゼルリング」汽船會社にして、前者は北部「オホツク」海及「カムチャツカ」方面の航路に從事し、後者は黑龍江及「ウスリー」灣、日本海の通航權を握り、斯くて此方面に於ける沿岸貿易の漸次發達するにつれて、他航路の必要發生せり、但極東方面に於ける露國船舶交通の瀕繁ならざる理由は主として資金の缺乏と國土及氣候の特殊性によるものなりとす。殊に氣候の險惡なることは沿岸貿易の發達を阻害せり、即ち「ポスシエット」灣を除き、十一月下旬より四月又たは五月下旬に至る間の風波は已むなく沿岸交通の汽船をして其航海を中絕せしむるを常とす。而して之れが主要なる原因をなすものは乘組水夫の勞銀の著しく高きに失するによることなりとす、尙は千九百十二年には特に三十三噸以上の積載力を有するものに限り補助金を與へて此方面の交通を奬勵せしものなりとす。

黑龍江鐵道の東部工事は「ハバロフスク」の北

部地方に向つて非常なる活氣を與ふるに至り、千九百十二年には此方面の鐵道工事に從事せしもの萬を以て數ふ、又郵便、及電信局は此鐵道線路に沿ふて設置せられ、通路の新設其他新村落、新移住地は是等、停車場附近に發生し、幾多の鑛山師は金、及石炭の鑛脈を發見するに忙しく、又事實鐵道線の附近には良質の炭田存し黑龍江鐵道は是等の炭田より其供給を仰ぐことを約せり、又浦鹽港に於ける市街電氣鐵道は千九百十二年を以て完成せり。

千九百十二年には都市と村落とを問はず漸次私立銀行が政府の援助を離れて獨立するもの多き傾向を生ずるに至れり、蓋、極東方面に於ける露國の領土廣大なると其人口の稀薄なると、金融機關の大中心と小中心との間に其距離の大なることは村落生活をなすものをして一朝有事の場合に於て充分に銀行其者を利用せしむることを能はざる困難あり、斯くて千九百十一年國立銀行は各町村の間に貯蓄又たは信用に關する小銀行を設置せしめ、國立銀行は是等の小銀行に對して五百弗乃至千五百弗を限りて貸與せしが、是等銀行の內には漸次業務の發達につれて、一、二年を經過せざる內に或者は資金を增加し、或者は株式組織に變更して吾人が前に述べし如く獨立の營業を有するに至りしものなりとす。

之れを要するに、最近、是等の方面に於て大なる變化を與ふ可しと考へられしものは黑龍江鐵道、及「ウスリ」鐵道の如き工事と「ニコライエフスク」浦鹽港及「アレキサンドロフスク」の築港工事等なりとす。

吾人は最後に露領極東方面と米國との通商關係に就きて述ぶ可し、蓋、兩者の間に直接的交通を有せざりしことは米國の此方面に於ける取引を阻害せしめしこと少からず、故に米國にして此方面の問題を解決するに於ては、從來輸入せられし農業上の機械、自動艇、自動車、製材用機械、鑛山用機械、「コンデンスミルク」等は更に大なる價格に達するに至る可し、只だ是等貨物取引をして發達せしむる爲めには以上述べたる直接的連絡を計る以外に浦鹽港に於て米國人の合同的代理店を設くること必要なり、勿論、此代理店の中心人物は露語と露國の事情に通曉せし者ならざる可からず。（完）

利子歩合の平衡（一）

高城仙次郎

第一節　概言

一融通階級內に於ける利子歩合は、其階級內に現存する融通資金の需用と供給との一致する點に於て定まるものなれば、同一融通階級にては資金の貸借は總て均一の利子歩合を以て行はるゝの傾向を有せりと看做すことを得可し。されど、甲の融通階級に於て行はるゝ利子歩合は乙の融通階級に於て行はるゝ利子歩合と如何なる關係を有するや。此兩者は常に平衡を保つものなるか、將た又各々其率を異にするものなりや。是れ吾人の講究せんと欲する所なりとす。

既に再三本誌に於て說述せるが如く、或一定の土地に在住する者は各々其財產、職業及び信用等を標準として數個又は數十個の融通階級に分たれ、各人は自己の屬する階級內に於て資金を貸借するものなれば、利子歩合が同一市町村の各階級間に於ては勿論、各地方間及び國際間に於ても多少の高低を示すことある可きは當然なりとす。如何となれば、假りに純利子歩合が